



ファンタジー 絵本展 東逸子の世界

2009年6月19日(金) - 10月5日(月)

東逸子 (あずまいっこ) プロフィール

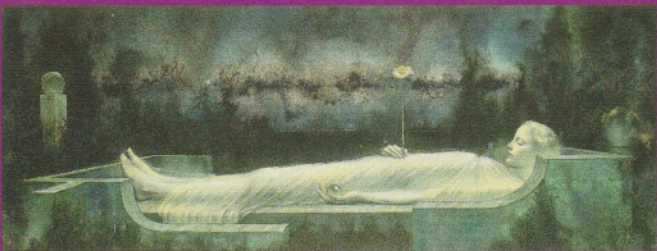
東京藝術大学美術学部を卒業、卒業制作作品を含む絵本出版をきっかけにエッチング作品で仕事を始める。以後、絵本や挿絵の仕事も多く手がけ、ドローイング、造形等でも作品を生み出している。『IVANITAS・VERITAS (儚きものたちのコレクション)』(2008年)などの個展では、エッチングなどのオリジナル作品を発表している。

人々は想像をつむいで“現実にはありえないものや出来事”を「ファンタジー」として物語や絵にしてきました。ファンタジーとは、幻想的、空想的な出来事を描いた作品ジャンルのことをさしますが、その起源をもとめると神話や伝説にまでさかのぼります。

本展では企画展特集として、人気イラストレーターの東逸子氏の作品を紹介します。「すぐれたファンタジー作家はリアリストの視点を持っている」とは、しばしば言われることですが、幻想的な作品を多数手がけている氏も、自然の持つ力やその美しさに着目し、それをもとに作品を生み出しているといえます。ファンタジー要素のある絵本原画を中心に、エッチング(銅版画)や立体作品などを展示し、数多くの作品を生み出してきた彼女の画業を紹介します。

<展示作品>

『月光公園』『翼の時間』(三起商行 [ミキハウス])、『遠くを見たい 星の囃りもの』(ハルル舎)、『イプシロンの翅』(白泉社)、『アマテラス』(ほるぷ出版)、エッチング、立体作品など



『APHELION—遠日点』©1992 Itsuko Azuma NTT出版撮影



『遠くを見たい 星の囃りもの』(ハルル舎) ©2004 Itsuko Azuma



『真夏の夜の夢』©1988 Itsuko Azuma



『Herma』©2005 Itsuko Azuma ミウラアーツ撮影

第一展示館にて

ファンタジー絵本展

～ファンタジー絵本の源流をたどる～

ファンタジーの源流をたどり、神話や伝説、妖精物語などに見られるファンタジーの要素や、現代に至るまでの代表的なファンタジー作品を紹介し、その魅力に迫ります。

協 力：三起商行 (ミキハウス)、アスク出版、スペース YUI、ギャラリーハウス MAYA、ミウラアーツ

後 援：(社)日本国際児童図書評議会、絵本学会、長野県教育委員会、軽井沢町教育委員会、信濃毎日新聞社、SBC 信越放送、NBS 長野放送、TSB テレビ信州、abn 長野朝日放送、FM 軽井沢



『キュービッドとプシケ』エロール・タイン ©1977 Errol Le Cain

木葉井悦子のアトリエ

絵を描くことに生涯をかけた画家、木葉井悦子を絵本と原画で紹介

前期 (6/19～8/17)：「ほんさいじいさま」 後期 (8/18～10/5)：「一まいのえ」



軽井沢八月祭参加特別企画展【絵本図書館にて】

「ニッサン童話と絵本のグランプリ」作品展

会期：8月1日(土)～23日(日)

秋冬展のご案内 「中欧三国の絵本展 ～チェコ・スロヴァキア・ポーランドに見る絵本の諸相～」 会期：10月9日(金)～2010年1月11日(月)

第7回えほんサロン 「“ファンタジー”への誘い 東逸子さんをお招きして」

2009年8月2日(日)

13:30～15:00 ミュージアムトーク

ゲスト：東逸子 (画家、絵本作家)

聞き手：吉田新一 (欧米児童文学研究者、当館顧問)

15:15～16:30 ティーサロン(語らいの場)

和やかな雰囲気の中、絵本を通じて様々な方と交流できるサロンです。

| | |
|-----|------------------------|
| 会 場 | 絵本図書館 (軽井沢絵本の森美術館内) |
| 会 費 | 2500円 (ティーパーティー、入館料込み) |
| 定 員 | 50名 (要予約) |

夏のイベント

詳細は裏面HPまで

| | |
|------------------|---------------------|
| A.森のおはなし会 | 【7月26日(日)、8月9日(日)】 |
| B.ポップアップカードを作ろう! | 【8月1日(土)、8月16日(日)】 |
| C.はさみで作る切り紙かざり | 【7月25日(土)、8月23日(日)】 |
| D.カラージュであそぼう! | 【8月15日(土)、8月29日(土)】 |
| E.結び人形と色つき粘土工作 | 【8月8日(土)、8月22日(土)】 |

A：11:00～、13:00～ / B～E：13:30～

A～Dは参加費無料、Eのみ参加費100円。各イベント参加には別途入館料が必要です。